

項目	内容
名称	リン脂質結合ダイズペプチド [英]Soybean-Protein Hydrolyzate with Bound Phospholipids、CSPHP [学名]-
概要	リン脂質結合大豆ペプチドは、分離ダイズタンパク質を酵素処理したタンパク質分解物 (分子量8,000が中心) と、酵素分解リン脂質との結合体である。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・分離ダイズタンパク質と酵素分解ダイズリン脂質からつくられる (2006185328)。
分析法	・タンパク質はケルダール法、脂質はクロロホルム：メタノール (2：1) による抽出法、糖類はフェノール/スルホン酸法により分析した報告がある (102)。
有効性	
ヒト 循環器・ 呼吸器 での 評価 価	<p>RCT</p> <p>・血中コレステロールが高めの成人75名 (日本) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、リン脂質結合ダイズペプチド1.5 g/日 (試験群25名、平均39.2±2.4歳) もしくは3 g/日 (試験群25名、平均40.6±2.7歳) を12週間摂取させたところ、血中脂質 (TC、LDL-C、HDL-C、LDL-C/HDL-C比) に影響は認められなかった (2004039519)。</p>

・血中コレステロールが高めの成人22名（試験群11名、平均40.8±2.2歳、日本）を対象とした二重盲検プラセボ対照試験において、味噌汁1杯（リン脂質結合ダイズペプチド3 g含有）/日を3ヶ月間摂取させたところ、血中脂質（TC）の低下が認められた。一方、血中脂質（LDL-C、HDL-C）に影響は認められなかった（2003223797）。

消化系・肝臓 調べた文献の中に見当たらない。

糖尿病・
内分泌 調べた文献の中に見当たらない。

生殖・泌尿器 調べた文献の中に見当たらない。

脳・神経・
感覚器 調べた文献の中に見当たらない。

免疫・がん・
炎症 調べた文献の中に見当たらない。

骨・筋肉 調べた文献の中に見当たらない。

発育・成長 調べた文献の中に見当たらない。

肥満 調べた文献の中に見当たらない。

その他 調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

(2004039519) 薬理と治療. 2003;31:571-8.
(102) Anal Chem. 1956;28:350-356
[\(PMID:11272848\) Biosci Biotechnol Biochem. 2001;65\(1\):72-8.](#)
(2003223797) 薬理と治療.2003;31(2):155-61
(2006185328) 脂質栄養学. 2006;15(1):63-8.
(2016139804) 健康・栄養食品研究. 1998;1(3-4):51-8.